

<p>会議録</p>	<p>日時 令和6年2月22日(木)14:00～15:00</p>	<p>場所 沼津フジビューホーム 地域交流室</p>	<p>書記・記録 廣瀬 麻美</p>
<p>会議名</p>	<p>第2回 地域密着型 運営推進会議</p>		
<p>出席者</p>	<p>門池地区連合自治会長 門池地区社会福祉協議会企画委員長 柏葉尾5班組長 河野 義文 (駿河厚生会 理事長) 中川原 倫子 (かどいけ地域包括支援センター職員) 廣瀬 麻美 (沼津フジビューデイサービス認知症対応型生活相談員) 下田 美鈴 (同認知症対応型介護職員) 谷川 美穂 (同認知症対応型介護職員)</p>		
<p>式次第</p>	<p>資料参照のこと</p>		
<p>議題</p>	<p>内 容</p>		
<p>1. 開会 2. 出席者紹介 3. 利用状況 利用実績の報告 活動状況報告 毎月の行事 4. 苦情報告 5. 事故その他報告</p>	<p>廣瀬「令和5年度の2回目、認知症対応型通所介護の運営推進会議を始めます。入所の方でコロナが発生しているが、在宅部門での発生はなかったため開催出来た。それではよろしく願います。」</p> <p>出席者の方に、それぞれ自己紹介を頂いた。 民生委員のY様は体調不良のため欠席。</p> <p>前回の運営推進会議で発表した時には、延べ利用者数100～130だったので横這い。冬期は体調を崩されたり、入院されたりどうしても利用者数が毎年減少する。現在要介護1、2が過半数を占めているが、要介護3以上になると施設入所を見据える方が増えてくる。現在も区分変更で要介護度の変更を待っている方がいる。新規の相談も何件かあるが、入所が決まると利用者減少が見込まれる。</p> <p>コロナも落ち着いてきて、行事も一通り出来るようになった。 大きく変わったのは11月には4年ぶりに施設での秋祭りが開催出来たこと。 さくらだよりをご覧いただくとわかるが、大勢での写真が増えた。 ここ最近は少人数での活動が多かったので、秋祭りを開催出来たことは私たち職員にとっても、ご利用者様のいつもとは違う表情を見ることが出来たり、ご家族とお話出来る良い交流の機会となった。 また、今年度は毎月防災訓練を欠かさず行ってきた。 フジビュー大学では、毎月職員が交代で30分程講師になり、講義をしている。 来年度も少し形を変えて続けていく計画を立てている。 イベント風呂は、毎月入浴剤を変えたり、写真を貼って飾ったり、雰囲気を変えて入浴を楽しんでいただいている。ご利用者様からも好評をいただいている。</p> <p>「おかげさまでありませんでした。」</p> <p>インシデントについて2件ありました。 1件目については、ご本人が必要以上に身体に触れられることを拒む方だったので、毎回立ち上がりはこのスタイルで行っていた。ヘルパーさんからの情報を考慮すると、下肢の状態がいつもと違うことが窺える。いつもと同じ介助では注意が足りなかった。 2件目については、洗濯表示の確認不足。本来、利用者私物の洗濯はデイサービスの業務外であるが、独居や老々で管理できないお宅が増えており、こちらで何枚かお預かりして清潔な状態で帰宅出来るようにしている。時間内に終わらせようとして、気が焦ってしまった。</p>		

議 題	内 容
6. 要望・助言 意見等	<p>A委員「毎月防災訓練を行っていると話があった。ぜひ、9月か12月に、柏葉尾自治会とフジビューさんで合同の防災訓練をお願いしたい。フジビューさんは福祉避難所にもなっている。今回、元旦に能登半島の大きな地震があった。被災地には申し訳ないが、良いタイミングだと思う。高齢者や障がい者など、体力のない人たちを避難させるのは、時間と労力を要すると思われる。マニュアルはあるが、実際に行ったことがないので、具体的な連携方法を確認したい」</p> <p>C委員「うちの組も高齢者が増えた。私も最高齢での組長となった。組長の年齢制限はない」</p> <p>A委員「組によっても規定が違う。中には、回覧板ぐらい回せる！と意気込む方もいるし、年齢で区切るの難しい」</p> <p>C委員「島田にいる弟が、包括支援センターにお世話になったことで、包括支援センターの存在を知っていた。ご近所に色々問題を抱えているお宅があって、「放っておけない」と思い、民生委員さんにも相談した」</p> <p>A委員「地域包括ケアシステムとは言うものの、地域で？支援？努力はしているが限界がある。専門職の連携、地域との連携、包括支援センターとの連携は今後の課題だと思う」</p> <p>中川原「役員がいなくて、今年度、門池地区では南小林と小林団地でサロンを立ち上げた。そこでは、健康チェックや介護保険サービスが必要だと思われる方を拾い出すことをしている。先ほどの大庭さんのお話も、民生委員さんから相談があった。今後も地域との繋がりを強化するために、目標を立てているところです」</p> <p>A委員「沼津市内に包括支援センターは10ヶ所あるけど、基幹型包括の業務もどんどん増えているから大変だよ」</p> <p>中川原「門池地区の高齢化率は26%。フレイルサポーターなど、一緒に活動してくれるシニアを募集している」</p> <p>河野「組織化しないとダメだよ」</p> <p>A委員「令和6年6月から、地区センターに事務局を移して門池版ちよいてつサービスを開始する。現在「お願いさん」「ちよいてつさん」が各16組ほどいる。完全な態勢にならなくても、割合的には3日に1回程度だから」</p> <p>B委員「柏葉尾も一人暮らしの世帯が増えているのではないかと。隣近所が仲良しならいいけど…」</p> <p>A委員「そういう方たちを地域や自治会だけで下支えするのは難しいよね」</p>
7. 休憩	<p>利用者様が訪室し、お手製のフルーツポンチを出席者に振る舞う。</p> <p>A委員「コロナ感染について、色々大変なこともあったと思うが、コロナから学んだこと、コロナを機にやらなくて良かったことなどあったら教えてほしい」</p> <p>廣瀬「一つは備品の管理です。コロナ感染拡大中は、マスクや消毒液など備品の入手が困難になった。ある程度のストックが必要だということを痛感した。今は在庫数も少し余裕をもって管理するようになった」</p> <p>A委員「備蓄については防災にも応用できる」</p> <p>廣瀬「もう一つは、研修や会議が現地まで行かなくてもオンラインで参加できるようになったこと」</p> <p>A委員「それは交通費の削減にもなるよね」</p> <p>B委員「着替えなくても、下半分はパジャマだっていいわけだから」</p> <p>廣瀬「研修が気軽に参加できるようになり、身近になったと思う」</p> <p>A委員「そこで、駿河厚生会さんとパートナーシップを結びたい。4月7日(日)10時～連合の総会があるので、ぜひ出席をお願いしたい」 → 文書の受け渡しあり 「福祉・防災・企業は切り離せない。行政だけでは回らない。老人会、子供会などみんな無くなっていくが、なくしちゃいけないということもわかっている。 みんな任意になって、良くなることはない。皆で支えていかなきゃいけない」</p> <p>B委員「自分事と捉え、支援側の立場を養成することが大切ではないか」</p> <p>A委員「自分のため、人のためじゃない。大庭さんのような「放っておけない」というハートを育てる仕組み作りが必要ですね」</p>
8. 閉会	<p>廣瀬「最後に、ご利用者様のご家族からいただいたお手紙を載せさせていただきました。ご利用者様だけでなく、ご家族の支えになれていることもやりがいになる。こういった言葉を励みに頑張っていきたい。次回は8月の予定です。今日は雨の中ご出席いただきありがとうございました」</p>

活動状況のご報告

認知症対応型通所介護事業所
沼津フジビューデイサービスセンター（さくら）

1. ご利用者様の状況

	R5年8月	9月	10月	11月	12月	1月
登録者数	9	10	11	11	11	10
延べ利用者数	95	120	140	142	125	103

要介護認定別 利用者数（令和6年1月31日現在）

要介護認定	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
利用者数	3	3	2	2	0	0	10

2. 活動報告（令和5年8月～令和6年1月）

月別活動報告

	行事内容
8月	機能訓練外出（ご案内お届け） 運営推進会議 ※夏祭り ※男の料理（焼きそば） 誕生会
9月	※料理（ハンバーグプレート） ※敬老会 誕生会
10月	※ハロウィンパーティー ※おやつ作り（芋ようかん）
11月	※秋祭り ※料理（水餃子）
12月	※料理（ちらし寿司） ※クリスマス会 制作（クリスマスリース） ※やきいも会 ※紅白歌合戦
1月	※新年会 ※料理（ちらし寿司） 誕生会 ※もちつき 機能訓練外出（稲荷神社）

（※は一般型【ききょう】との合同行事）

3. 毎月の行事

- ・誕生会
- ・防災訓練
- ・折り紙教室（隔週火曜日）
- ・カラオケ（毎週月・水・金曜日）
- ・麻雀教室（毎週月・水・金曜日）
- ・フジビュー大学（毎月第3週）
- ・イベント風呂（毎月第4週）
- ・体重測定

4. 苦情受付

0件

5. 事故その他報告すべき事項

インシデント 2件

- ・昼食前、ソファーに座っていたご利用者様を、お席へと移動していただくとした。ご本人が両手を伸ばしたので、正面に立って手を握り、ソファーから立ち上がっていただくとしたところ、ご利用者様が床にしゃがみこんでしまった。
→看護師に身体確認をしてもらい、特に異常は見られず。本人も「痛いところはない」とおっしゃった。朝のお迎え時に、ヘルパーから土日の歩行状態が良くなかったと申し送りがあったにも関わらず、注意が足りなかった。
- ・入浴後、洗濯表示を確認せずに、ご利用者様の衣類を洗濯、乾燥したところ、ニットが縮んでしまった。
→時間内に全ての洗濯を終わらせようと気が焦り、衣類の素材にまで気が行き届かず、仕分けを怠った。ご利用者様の大切な衣類をお預かりしているという意識を忘れず、流れ作業にならないようにする。

6. 次回会議日程

令和6年8月